

10言語に翻訳されたアプリが期間限定 SALE 中！

350円→85円(App Store)／99円 (Google Play)

東京国際ブックフェアでもアプリ展示中です！

PRAY FOR JAPAN

著者／prayforjapan.jp 編 監修／鶴田浩之

-3.11 世界中が祈りはじめた日-

教科書に採択！ 全国で中高生向け英語・日本語教材として注目されています

「人間というのは言葉を食べて

生きているのだと改めて思った」坂本龍一氏、推薦！



東日本大震災発生のおよそ12分後から、今も世界中から日本への〈祈り〉の言葉と写真が届き続けています。

Twitter や Facebook で爆発的にクチコミで広がり 700 万人がアクセス。ボランティアにより 12 言語に翻訳され、Web サイト prayforjapan.jp が出来ました。東日本大震災の夜、避難所で 20 才の大学生、鶴田浩之氏が一晩で作ったこのサイトをベースに 2011 年 4 月に緊急出版された『PRAYFORJAPAN』を見た、ある校長先生は全クラスに配布、あるお母さんは子供や孫のために……大切な人にプレゼントする波が広がっています。

◆監修者・鶴田浩之氏プロフィール @mocchicc

1991 年長崎県生まれ、21 歳。慶應義塾大学環境情報学部在籍中。株式会社 Labit 代表取締役/Web デザイナー・ディレクター。



◆全国でパネル展巡回中！

椿山荘 (3 月)、太閤園 (4 月) 箱根の小涌園 (5 月～7 月 10 日) でパネル展が開催中です。

◆ハタチ基金に印税を寄付しました。

◆東北 4 県の高校、長野県栄村の小中学校に寄贈しました。

◆スキマスイッチの常田真太郎さんが楽曲を提供。

prayforjapan.jp/music の web サイトにて、公開中。ぜひ音楽に耳を傾けながら、1 ページ 1 ページお読みください。

◆10 言語に翻訳されてアプリ発売中。PC 版電子書籍も配信中です。

◎スキマスイッチ常田さんの静謐な楽曲が BGM に ◎アプリの印税は全て被災地の復興に寄付

◎twitter 投稿・閲覧機能を搭載！ ◎アプリ特典 読者の声掲載

◎日本語・英語・中国語 (簡体・繁体)・韓国語・イタリア語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、アラビアを収録！

◆アプリ・電子書籍の URL 価格 350 円→7 月 4 日～7 月 10 日期間限定 SALE 中 85 円(App Store)／99 円 (Google Play)

7 月 5 日～8 日まで開催される東京国際ブックフェアの「講談社ブース」でもアプリをご覧頂けます。ぜひ、お寄り下さい。

iOS(iPad/iPhone)版 <http://itunes.apple.com/jp/app/id501016586>

Android 版 <https://market.android.com/details?id=air.prayforjapan>

電子書籍版 <http://dbs.kodansha.co.jp/7703.html?id=12557&type=book>

◆ 紙の本 1000 円(税込み) 全国の書店でお買い求め頂けます

問い合わせ先：講談社 アミューズメント出版部 03-5395-3474 prayforjapan@kodansha.co.jp

<本文より一部抜粋>

◆いつか自分の子供や孫に話そう。おばあちゃんが若かったとき、東日本大震災があつて世界が1つになった。皆が一つのために必死になって支えあつて輝いていたんだよ。って。相手が聞き飽きるまで話そう。だから1人でも多くの人に元気になってほしい。

◆千葉の友達から。避難所でおじいさんが「これからどうなるんだろう」と漏らしたとき、横に居た高校生ぐらいの男の子が「大丈夫、大人になったら僕らが絶対に元に戻します」って背中さすって言ってたらしい。

◆2歳の息子が独りでシューズを履いて外に出ようとしていた。「地震を逮捕しに行く!」とのこと。小さな体に宿る勇気と正義感に力をもらう。

◆ぜんぜん眠っていないであろう旦那に、「大丈夫?無理しないで」とメールしたら、「自衛隊なめんなよ。今無理しないでいつ無理するんだ?言葉に気をつけろ」と返事が。彼らはタフだ。肉体も、精神も。

◆家屋に取り残され、42時間ぶりに救出された高齢の男性の映像。「チリ津波も経験してきたから、だいじょうぶです。また、再建しましょう」と笑顔で答えていた。



<読者の声>

13歳の女の子から86歳のおばあちゃんまで読者ハガキがたくさん寄せられています。

◆私は南相馬市出身で、実家は20km圏内でもう入れません。娘が大きくなったら、絶対にこの本を見せてあげようと思います(宮城県仙台市・女性・29歳)

◆3.11が奪ったものはたくさんありますが、3.11が与えたものが何なのか、この本を読むと見えてきます。

英訳併記なので留学生の友だちにも渡します。(茨城県つくば市・女性・22歳)

◆アメリカの友人にも早選手紙をつけて送りました(京都府・女性・86歳)

◆英語塾講師です。この本を塾のRecommend Bookとして紹介しています(岩手県・女性・28歳)

◆本屋で号泣しました。人の温かさ、人の強さを知り、日本に生まれてよかったと改めて思いました(鹿児島県・女性・13歳)